

放射能関係のお知らせ

2018年3月2回(C週)

お届け日:2018/3/12~3/16
発行日:2018/2/26



生協 パルシステム

本誌は、カタログ掲載の青果について、2018/2/21(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	いちご	品目で検査済	たまつくり・とちのみ・うつのみや・はが野・海上・佐原・遠州
	清見	検査予定	小田原・久望
	キウイ	品目で検査済	小田原・やはた会・有機農法ギルド
	ゴールデンオレンジ	検査予定	小田原
	不知火	品目で検査済	久望
	はっさく	品目で検査済	小田原
	はるか	品目で検査済	久望
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園
果菜	きゅうり	品目で検査済	八千代・邑楽館林・村悟空・佐原
		果菜類で検査済	サンド旭・和郷・野菜くらぶ・沃土
		検査予定	みちのく野菜
	スナップエンドウ	品目で検査済	南伊豆
	トマト	品目で検査済	谷田部・葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ
		果菜類で検査済	たまつくり・沃土・元気会・村悟空・佐原・いちかわ
根菜	ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・元気会・沃土・和郷
		果菜類で検査済	八千代・野菜くらぶ・村悟空・サンド旭
	アスパラ	品目で検査済	うつのみや・利根沼田
	大葉	葉菜類で検査済	和郷
葉菜	キャベツ	品目で検査済	野菜くらぶ・村悟空・海上・佐原・和郷・三浦市・三浦EM・南伊豆・遠州
		葉菜類で検査済	沃土
		検査予定	よこすか葉山
	小松菜	品目で検査済	有機農法ギルド・群馬モグラ
	葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・葉菜野果・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・佐原・八街・和郷・風土の会	
葉菜	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・八街・海上・風土の会
	たらの芽	品目で検査済	丸公
	チンゲン菜	品目で検査済	こまち・あゆみの会
		葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・佐原・和郷・遠州
葉菜		葉菜類で検査済	南伊豆
	にら	葉菜類で検査済	葉菜野果・元気会・野菜くらぶ・和郷
	ねぎ	品目で検査済	沃土・八街
		葉菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八千代・やさと・野菜くらぶ・利根川・南埼玉・村悟空・佐原・風土の会
葉ねぎ	葉菜類で検査済	沃土・村悟空・海上・佐原・サンド旭・南伊豆	
ブロッコリー	品目で検査済	野菜くらぶ・沃土・南埼玉・海上・佐原	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ベビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー
		品目で検査済	草の会
	ほうれん草	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・やさと・八千代・常総産直・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
		葉菜類で検査済	
	みず菜	品目で検査済	葉菜野果
		葉菜類で検査済	谷田部・佐原・沃土
	ルッコラ	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
	山うど	検査予定	利根沼田
	レタス	品目で検査済	やさと・野菜くらぶ・佐原・サンド旭
		葉菜類で検査済	谷田部・常総産直・八千代・南埼玉・沃土・海上・八街・和郷
若芽ひじき	品目で検査済	寺島	
根菜	かぶ	品目で検査済	沃土
		根菜類で検査済	谷田部・たまつくり・海上・八街・佐原・和郷
	さつまいも	品目で検査済	常総・谷田部・葉菜野果・たまつくり・佐原・和郷
	しょうが	根菜類で検査済	村悟空・和郷
	大根	品目で検査済	海上・三浦EM
		根菜類で検査済	谷田部・村悟空・佐原・和郷
	長芋	根菜類で検査済	葉菜野果
	人参	品目で検査済	常総・たまつくり・あゆみの会・佐原・和郷・清瀬
		根菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・やさと・沃土・農法の会・海上・八街・風土の会
	にんにく	品目で検査済	八峰園・田子
れんこん	品目で検査済	常総・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
果菜	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップエンドウなど
	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
葉菜	花蕾・莖菜	ブロッコリーなど
	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
根菜・いも類	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
なめこ	品目で検査済	谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済	ささかみ
マッシュルーム	品目で検査済	村悟空・三蔵
山えのき	品目で検査済	有倉
4種のきのこセット	品目で検査済	谷田部・雪国・丸金グループ *生しいたけからは放射能が検出されました

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2018/2/14	21
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
4種のきのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

*2018/2/21の検査では、生しいたけより放射能の検出はありませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
不知火	小田原	2018/2/2	3.2
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり	日本の稲作を守る会	2017/10/18	3.1 4.8
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

*白米で検査を行ったところ、放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 353	ひき肉と春雨のオイスターソース炒めセットのしいたけ	2017/11/6	3.8
きなり 336			
コトコ 368	しょうがが香る鶏白湯鍋セットのしいたけ		
きなり 112143			
コトコ 111350	食べきり塩ちゃんこ鍋セットのしいたけ	2018/2/14	21
きなり 339			
きなりセレクト 341096			
コトコ 111325	ほうれん草の五目炒めセットのしいたけ		
きなり 335			
きなりセレクト 341053			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 347	冷凍さつまいもスティック	2017/11/20	1.3
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

yumyum 基準の検出限界 1Bq/kg で検査

2018年 8年目にむけて 10

2013年より年に2回(2月・8月)、消費者庁が「風評被害に関する消費者意識の実態調査について」の実態調査を行ってきました。その10回目が2017年10月に結果を発表。内容について数回にわたりお知らせしています。

放射能に対する意識の変化

- 放射能を気にする食品群について

放射能を気にする食品群は何かについて質問しています。

3,255人の回答者のうちで「放射性物質の含まれていない食品を買いだいたいから」と回答した854人に、「どの品目を気にするのか」をみると、

- ①「野菜」が回答者全体に対して15.0%で最も多く、
- ②「米」が12.8%
- ③「果物」が11.4%
- ④「鮮魚貝類」が10.4%
- ⑤「きのこ」が8.4%

で、これは、過去9回の中で最も低い数値でした。

最も気にされない品目としては、「清涼飲料水」でした。

「きのこ」は5位で、実際に検出されている品目を気にしているとはいえない状況でした。

食品から放射能が検出しないのはよい傾向であると考えられますが、すべてが検査されてはいません。また、検査をされていても、その自治体に検査機器も検出下限値も任されており、統一性がないため、すべての検査に安心できるわけではありません。

意識の低下から、除染が十分でない山林からの落ち葉を畑に蒔きこんでしまうことや山菜などが市場流通品として手にとる可能性もあります。

セシウム137の半減期が30年と長く、パルシステムが常に放射能を意識した取り組みを行っていくことは、大きな意義があると考えています。

消費者庁の意識調査についてはこれで終了します。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1071)」(2017/7/30~2018/2/9で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された検体上位数件です。
シイタケ(菌床・原木):岩手県平泉町ほか 4.9~36Bq/kg
- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された検体上位数件です。
シイタケ(原木):福島県(流通品) 26Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとがありますが、状況はきちんと把握できていません。

放射能を多く含んだ食品を、知らず知らず口にしている可能性があります。検査をしておらず、流通している商品が今では多くなっていますので、検査をしているものを選ぶことをお勧めします。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

2月の放射能検査状況

2月の検査は、16日までで、しいたけより原木しいたけ(21, 4.2Bq/kg)から1件、青果より不知火(3.2Bq/kg)から1件、自主基準内の検出がありましたほかは、すべて検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	2月	検出内容		2月
青果	9(1)	不知火 3.2Bq/kg	卵	0(0)
しいたけ	2(2)	原木しいたけ 21, 4.2Bq/kg	魚介類	22(0)
その他のきのこ類	2(0)		飲料水・飲料	3(0)
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品	9(0)
牛乳・乳製品	2(0)		その他加工食品	100(0)
肉類	0(0)		合計	149(3)

2017年度の放射能検査の状況(2017年4月~2018年1月)

青果	今年度は青果・果物からの検出はありません。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~15Bq/kg)が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	日本の稲作を守る会の玄米(こしひかり)より2件(3.1、4.8Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されましたが、白米で検査したところ不検出でした。 2017年産米は、27産地69検体の検査が終了し、2件検出、その他67件不検出でした。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。 *放射能はぬか部分に多く蓄積するため、玄米で検査をおこなっています。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより1件(1.3Bq/kg)、産直野菜チップス(さつまいも・にんじん)より1件(1.2Bq/kg)が自主基準内で検出されました。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っています。2017年よりyumyumでの掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <乾物> 2017年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.0Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。 <その他> 2017年12月にサプリメントのブルーベリー&ルテイン(8.2Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		
	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)			国の規格基準	
2014年10月より現行基準			現	旧
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50	
飲料、乳製品、米			一般食品 100	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50		
しいたけ	100	100		

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位Bq/kg)
*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。